

目標管理型の政策評価に係る評価書の標準様式

別紙2

(環境省24-4)

施策名	目標1-4 市場メカニズムを活用した海外における地球温暖化対策の推進					
施策の概要	京都議定書目標達成計画に基づき基準年総排出量比1.6%に相当する京都メカニズムクレジットの確保を目指すとともに、海外における我が国の排出削減・吸収への貢献を適切に評価する新たなメカニズム(二国間クレジット制度)を構築し、我が国の温室効果ガス排出削減の目標達成に活用する。					
達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> ・GISやCDMを活用し、平成25年度までに我が国のクレジット取得量(CO2換算ト)の累積量を約1億取得する。 ・二国間クレジット制度の本格導入を行うべく、国内の関連制度の整備や国際的な位置づけの確保に向けたロードマップを早急に策定する。 					
施策の予算額・執行額等	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	
	予算の状況(千円)	当初予算(a)	23,038,257	12,090,465	7,765,566	作業中
		補正予算(b)	0	0	0	作業中
		繰り越し等(c)	4,055,778	103,037	(※記入は任意)	
		合計(a+b+c)	27,094,035	12,193,502	(※記入は任意)	
執行額(千円)	26,367,421	8,738,456	(※記入は任意)			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	京都議定書目標達成計画					

測定指標	基準値	実績値					目標値
		年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
クレジット取得量(CO2換算ト) ※京都議定書目標達成計画に基づき政府が取得する量	-	約3,103.5万 (※契約量)	約4,150.0万 (※契約量)	約400.0万 (※契約量)	0 (※契約量)	0 (※契約量)	(18年度から25年度までの累積量)約1億
	年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-
年度ごとの目標値	基準	施策の進捗状況(実績)					目標
	年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	年度
年度ごとの目標値	-						
-	-	施策の進捗状況(実績)					目標
		平成25年4月1日現在、総計約9,756万トン(CO2換算。うち移転実績総量9,365万トン)のクレジットを取得契約済み。					25年度

施策に関する評価結果	目標の達成状況	平成25年4月1日現在、総計約9,753万トン(GISによる取得7,550万トン、CDMによる取得約2,203万トン)のクレジットを取得契約済み。平成24年度に406.3万トン(二酸化炭素換算)のクレジットが日本政府口座へ移転された。また、二国間クレジット制度(JCM)に関して、平成25年6月時点で、5カ国と二国間文書に署名済み。そのうちモンゴルとは第1回合同委員会を開催し、基本的なルールについて合意した。
	目標期間終了時点の総括	<p>これまで、毎年度、必要な業務内容とそれに応じたコスト見直しを実施してきたところである。</p> <p>2013年(平成25年)度までに約1億トンCO2分の京都メカニズムクレジットを取得するため、平成25年度も2013年(平成25年)度を終期とする国庫債務負担行為及び当該年度の必要額を引き続き計上し、リスクを低減しつつ、費用対効果を考慮した、より信頼性の高いクレジット取得を実施していく。また、国別登録簿の適切な管理、運営を引き続き実施する。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	
---------------------------	--

担当部局名	地球環境局 地球温暖化対策課 市場メカニズム室	作成責任者名	奥山 祐矢	政策評価実施時期	25年 6月
-------	-------------------------------	--------	-------	----------	--------